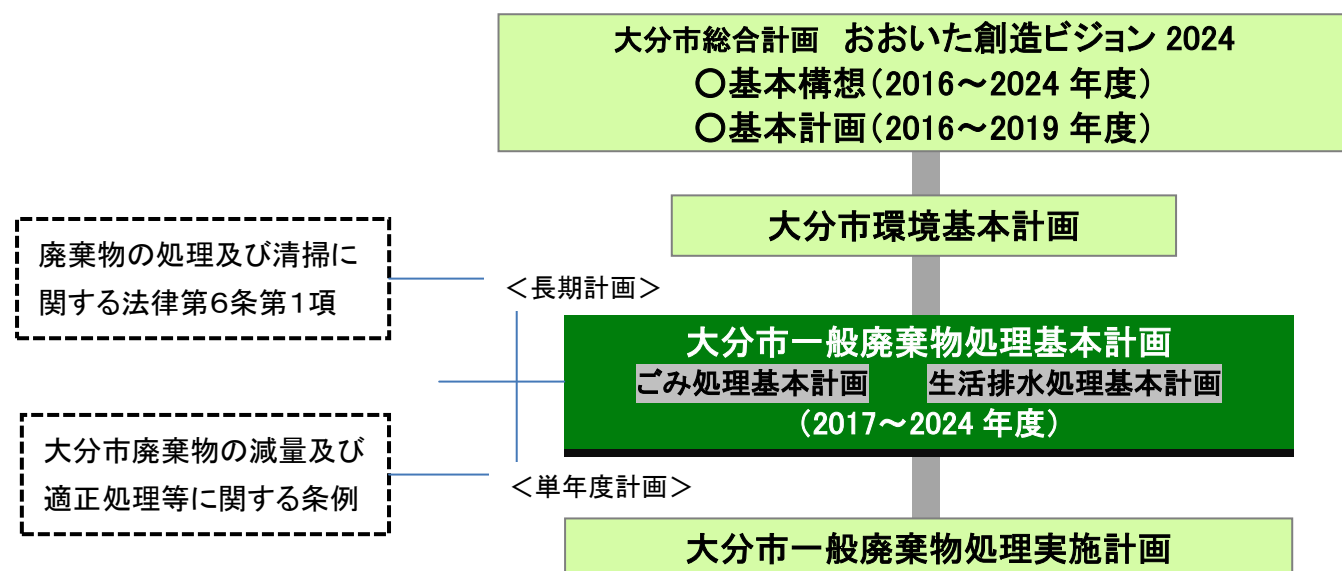


1 計画の位置付け

本計画は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）第6条第1項」及び「大分市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」に基づいて策定するもので、大分市総合計画及び大分市環境基本計画に定める環境・廃棄物分野のうち、一般廃棄物（ごみ・生活排水）処理の基本理念や基本方針をさらに具体化するための施策を現すものです。長期的視点に立った目標を設定していることから、事業の実施及び進捗管理は、年度毎に定める実施計画により推進していきます。



2 計画の期間と見直し

現行の計画期間は、計画基準年度を2015（平成27）年度、計画初年度を2017（平成29）年度とし、2019（平成31）年度を中間目標年度と位置付け、最終目標年度を2024（平成36）年度としています。

中間目標年度を迎えるとともに、今年度策定予定の大分市総合計画第2次基本計画との整合性を図ること、また、法整備も行われ関心が高まっている「食品ロス」について明記する必要があることから、本計画を今年度見直すこととします。

現行計画の目標期間

| 年度 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 項目 | | | | | | | | | | |
| 計画の期間 | | | | | | | | | | |
| 計画策定年度 | | ● | | | | | | | | |
| 計画基準年度 | ● | | | | | | | | | |
| 中間目標年度 | | | | | ● | | | | | |
| 最終目標年度 | | | | | | | | | | ● |

3 現行ごみ処理基本計画における基本理念

みんなの工夫と実践で、環境負荷を一層低減し、循環型社会の実現を目指す

4 現行ごみ処理基本計画における基本目標

基本目標① 一人ひとりが環境や資源について考え、4Rに積極的に取り組むまち

基本目標② 環境に配慮した適正な処理体制が整備され、衛生的で安全・快適な生活環境が保たれる自然共生型のまち

5 現行ごみ処理基本計画における数値目標

(1) 排出抑制（削減率）
ごみ排出量（総処理量）を2015年度に比べ、2024年度に約14%以上削減する

(2) リサイクル率
リサイクル率を2015年度21.9%から、2024年度33%以上に引き上げる

(3) 最終処分率
最終処分率を2015年度6.2%から、2024年度3%以下に引き下げる

6 現行ごみ処理基本計画における施策展開

基本目標①にかかる施策

●4R推進計画

- (1) 「4R」への意識改革
- (2) リフューズ・リデュースの推進
- (3) リユースの推進
- (4) リサイクルの推進

基本目標②にかかる施策

●収集運搬計画

- (1) 排出マナーの向上と収集運搬許可業者への指導の強化
- (2) 市民のニーズと環境に配慮した収集運搬体制の整備

●中間処理・最終処分計画

- (1) 安定した中間処理体制の確保
- (2) 再資源化処理の推進
- (3) 最終処分場の延命化

●関連するその他の取り組み

- (1) 不適正処理防止対策の推進
- (2) 産業廃棄物の適正処理の推進
- (3) 災害廃棄物対策
- (4) 広域処理体制の確立
- (5) 日本一きれいなまちづくりの推進

7 現行ごみ処理基本計画におけるごみ処理にかかる実績値及び目標値

| 区分 | 関係式 | 年度 単位 | 2015 | 2016 | 2017 | 2019 | 2024 |
|-----|-----------------|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 中間目標値 | 最終目標値 |
| A | 行政区域内人口 | (実績・予測) 人 | 478,241 | 478,491 | 478,222 | 478,100 | 477,900 |
| A' | 1人1日平均排出量(家庭ごみ) | g/人/日 | 633 | 621 | 616 | 614 | 582 |
| a | 可燃物 | (実績・予測) | 478 | 472 | 470 | 460 | 431 |
| a | 不燃物 | (実績・予測) | 29 | 28 | 28 | 29 | 26 |
| a | 資源物 | (実績・予測) | 125 | 121 | 117 | 125 | 125 |
| B | 収集量(家庭ごみ) | t/年 | 110,750 | 108,474 | 107,445 | 107,404 | 101,554 |
| b | 可燃物 | (実績・予測) | 83,702 | 82,450 | 82,040 | 80,563 | 75,117 |
| b | 不燃物(粗大含む) | (実績・予測) | 5,162 | 4,915 | 4,917 | 4,968 | 4,633 |
| b | 資源物 | (実績・予測) | 21,886 | 21,109 | 20,488 | 21,873 | 21,804 |
| C | 直接搬入量(事業系ごみ) | t/年 | 47,548 | 48,869 | 50,061 | 37,596 | 34,446 |
| c | 可燃物 | (実績・予測) | 46,289 | 47,412 | 48,965 | 36,336 | 33,190 |
| c | 不燃物 | (実績・予測) | 1,259 | 1,457 | 1,096 | 1,260 | 1,256 |
| D | 処理量 | t/年 | 136,412 | 136,234 | 137,018 | 123,127 | 114,196 |
| d | 可燃物 | b可燃+c可燃 | 129,991 | 129,862 | 131,005 | 116,899 | 108,307 |
| d2 | 内 焼却後埋立 | t/年 | 7,041 | 8,208 | 7,348 | 3,448 | 1,494 |
| d3 | 内 焼却後資源 | t/年 | 11,034 | 11,447 | 12,879 | 12,918 | 13,669 |
| d | 不燃物 | b不燃+c不燃 | 6,421 | 6,372 | 6,013 | 6,228 | 5,889 |
| d4 | 内 直接埋立 | t/年 | 760 | 990 | 669 | 737 | 697 |
| d7 | 内 破碎後埋立 | t/年 | 2,060 | 2,189 | 2,000 | 1,998 | 1,889 |
| d8 | 内 破碎後資源 | t/年 | 1,045 | 1,050 | 1,043 | 1,013 | 958 |
| E | 資源化量 | t/年 | 18,046 | 17,174 | 16,421 | 18,155 | 18,097 |
| e1 | 缶 | (実績・予測) | 902 | 918 | 914 | 907 | 904 |
| e2 | びん | (実績・予測) | 664 | 588 | 533 | 668 | 666 |
| e3 | ペットボトル | (実績・予測) | 1,166 | 1,168 | 1,185 | 1,173 | 1,169 |
| e4 | 資源プラ | (実績・予測) | 2,797 | 2,804 | 2,802 | 2,814 | 2,805 |
| e5 | 古紙・布類 | (実績・予測) | 12,390 | 11,564 | 10,854 | 12,464 | 12,425 |
| e6 | 蛍光灯等 | (実績・予測) | 128 | 132 | 133 | 129 | 128 |
| E' | その他の資源化量 | t/年 | 5,783 | 15,237 | 11,743 | 15,187 | 18,147 |
| e7 | 内 有価物集団回収量 | (実績・予測) | 3,821 | 3,692 | 3,452 | 3,850 | 3,838 |
| e11 | 内 リサイクル業者への誘導 | (実績・予測) | - | 9,827 | 7,295 | 10,000 | 13,000 |
| F | 総処理量 | B+C t/年 | 158,298 | 157,343 | 157,506 | 145,000 | 136,000 |
| | ごみ排出量削減率 | 2015年度基準 % | 0.0% | 0.6% | 0.5% | 8.4% | 14.1% |
| G | 資源化量 | d3+d8+E+E' t/年 | 35,908 | 44,908 | 42,086 | 47,273 | 50,871 |
| | リサイクル率 | G/(F+E) % | 21.9% | 26.0% | 24.9% | 29.5% | 33.0% |
| H | 最終処分量(埋立量) | d2+d4+d7 t/年 | 9,861 | 11,387 | 10,017 | 6,183 | 4,080 |
| | 最終処分率 | H/F % | 6.2% | 7.2% | 6.4% | 4.3% | 3.0% |

B 収集量(家庭ごみ) : 家庭から排出され市が処理する量

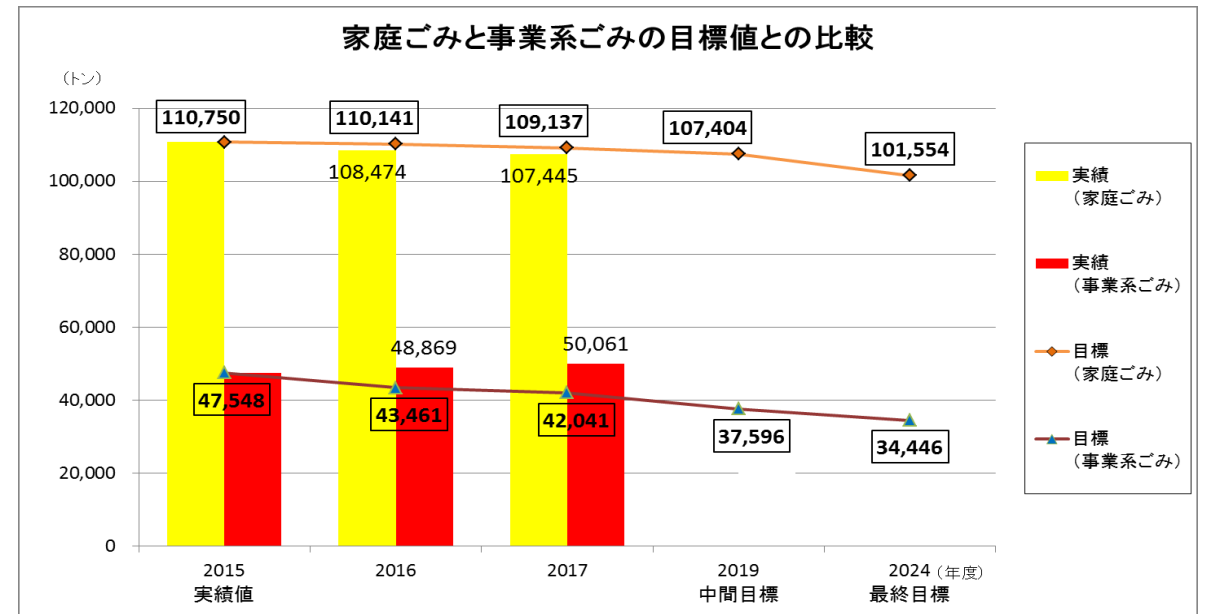
C 直接搬入量(事業系ごみ) : 事業所から排出され市が処理する量

E 資源化量 : 資源物のうち資源化された量

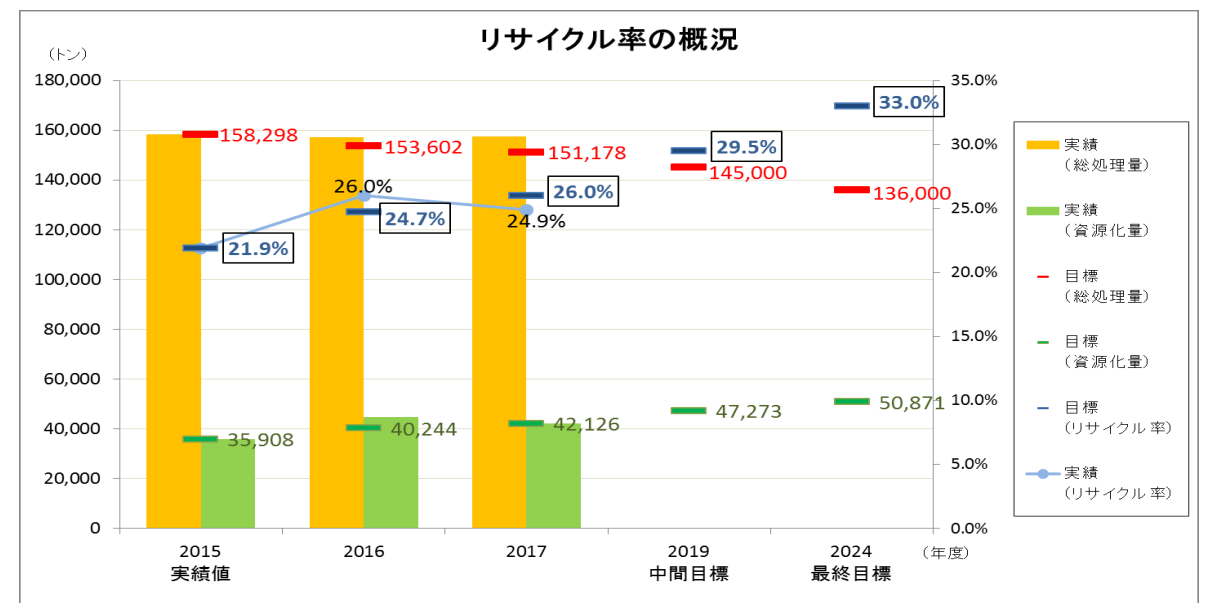
E' その他の資源化量 : 集団回収量・拠点回収量ほか

e11 リサイクル業者への誘導 : 民間の再資源化処理施設に搬入された一般廃棄物で市が把握している量

<数値目標(1)排出抑制(削減率)関係グラフ>

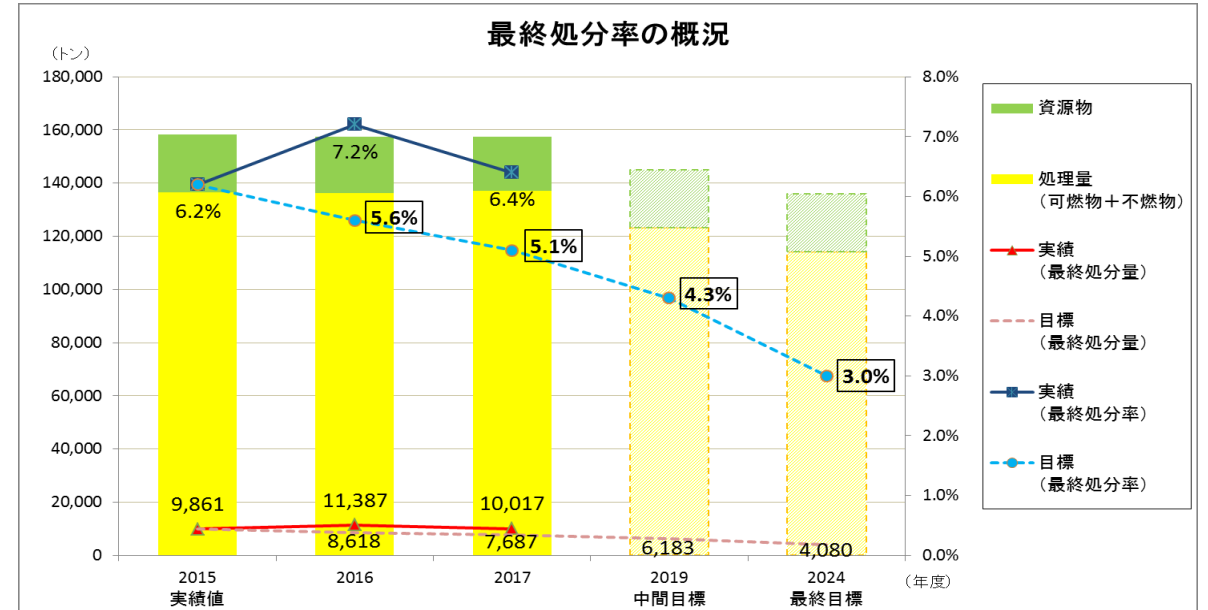


<数値目標(2)リサイクル率関係グラフ>



$$\text{リサイクル率} = \frac{\text{資源化量}}{\text{総処理量} + \text{その他の資源化量}} \times 100$$

<数値目標(3)最終処分率関係グラフ>



$$\text{最終処分率} = \frac{\text{最終処分量}}{\text{総処理量 (可燃物+不燃物+資源物)}} \times 100$$

8 現状と課題、今後の取組の方向性

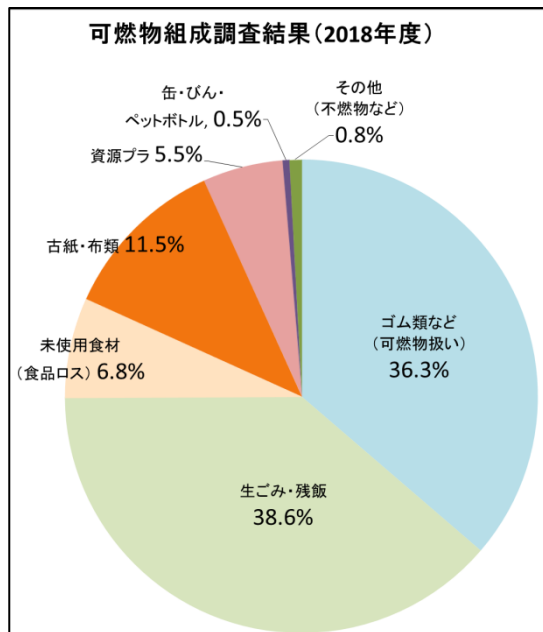
(1)ごみ処理基本計画に関すること

【家庭ごみ】

家庭ごみの処理量については、2014（平成26）年11月から導入している家庭ごみ有料化制度などにより減少傾向にあります。しかしながら、排出される可燃物には依然として多くの資源物が混入していることから、適正排出をさらに推進する必要があります。また、国際的にも注目され、法整備もされた「食品ロス」についても一定量排出されていることから、その削減に向けた取組を強化する必要があります。

< 4Rの推進 >

- ①リフューズ（発生回避）
- ②リデュース（発生抑制）による排出抑制
- ③リユース（再使用）
- ④リサイクル（再資源化）推進のための適正排出



【事業系ごみ】

事業系ごみの処理量については、ここ数年増加傾向にあります。処理量の削減のためには、資源物の再資源化処理などの適正な分別排出を推進する必要がありますが、市の清掃工場に搬入される可燃物には、リサイクルできる紙類のほか、搬入禁止品である産業廃棄物の混入が見受けられることから、排出事業者や収集運搬許可業者への指導・啓発を強化する必要があります。また、飲食店、小売店を中心に「食品ロス」を含む多くの生ごみが排出されていることから、市民・事業者・行政が一体となり、4Rを基本とした取組を推進する必要があります。

【収集運搬・中間処理・最終処分】

不適正な排出方法が原因と思われる、ごみ収集車両や清掃工場の火災を防止するため、安全で適正な排出方法について、指導・啓発活動を展開する必要があります。また、ごみ焼却施設と再資源化施設は老朽化が進んでいることから、策定した「一般廃棄物処理施設整備基本計画」に基づく計画的な施設整備を行う必要があります。

(2)生活排水処理基本計画に関すること

【生活排水処理】

引き続き、公共下水道の整備を進めるとともに、し尿・浄化槽汚泥の効率的な収集運搬・処理体制を整備する必要があります。なお、野津原地区のし尿と浄化槽汚泥の収集運搬・処理を行っている「由布大分環境衛生組合」が2021（令和3）年3月末で解散予定となっていることから、解散後の収集運搬・処理体制について、検討を進める必要があります。

9 計画改定の基本的な考え方

現行計画の中間目標年度を迎えることから、現行計画における目標達成状況や、本市の現状・課題を整理し、既存施策の精査・見直しを行いながら、新たな施策の検討を行うとともに、目標値の設定とごみ処理量の予測を行います。

なお、大分市総合計画第2次基本計画も今年度策定することとなっており、整合性を図りながら進める必要があります。

10 新たな計画の目標期間等

新たな計画は、計画基準年度を2018（平成30）年度、計画初年度を2020（令和2）年度とし、2024（令和6）年度を中間目標年度と位置付け、最終目標年度を2029（令和11）年度とします。

| 項目 \ 年度 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 計画の期間 | | | | | | | | | | | | |
| 計画策定年度 | | ● | | | | | | | | | | |
| 計画基準年度 | ● | | | | | | | | | | | |
| 中間目標年度 | | | | | | | ● | | | | | |
| 最終目標年度 | | | | | | | | | | | | ● |

11 今後のスケジュール

- 6月20日 【第1回清掃事業審議会】 計画改定について諮問・審議
- 7月 【第2回清掃事業審議会】 計画（素案）について審議
- 8月 【第3回清掃事業審議会】 計画（素案（修正案））について審議
計画（素案）完成
- 9月 計画（素案）についてパブリックコメント実施
計画（案）作成
- 10月 【第4回清掃事業審議会】 計画（案）について審議・答申
計画（案）完成
- 3月 配布